

美崎会グループのご紹介



国分中央病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番70号

TEL.0995-45-3085



サービス付き高齢者向け住宅 メディカーサ国分中央

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央1丁目25番51号

TEL.0995-73-7111



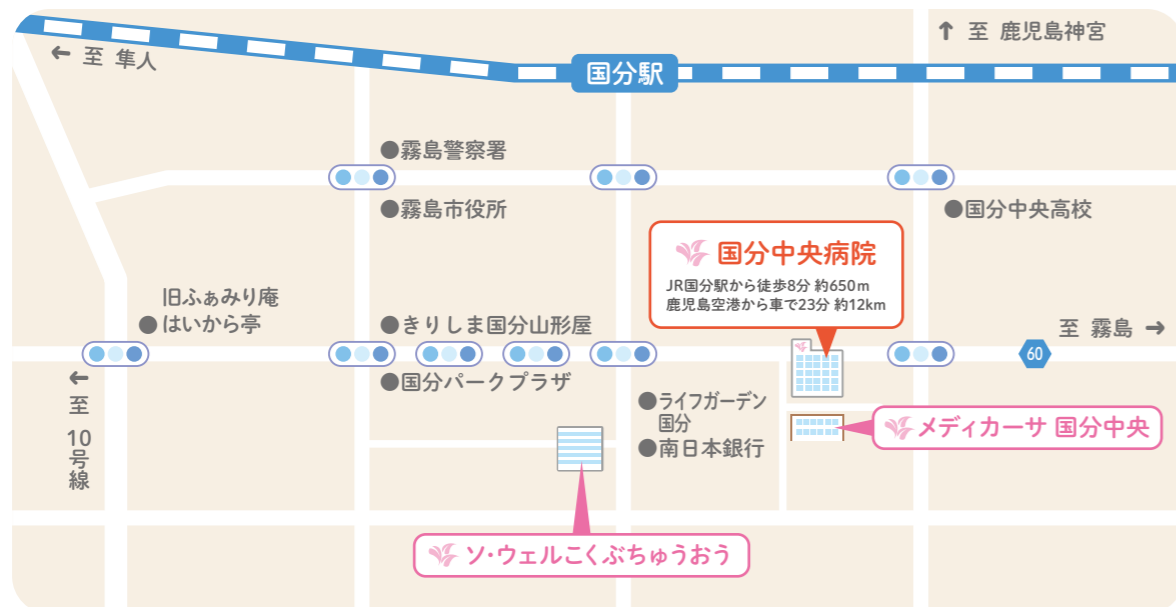
地域密着型特別養護老人ホーム ソ・ウェルこくぶちゅうおう

〒899-4332 鹿児島県霧島市
国分中央3丁目12番29号

TEL.0995-73-8300

美崎会グループのWebサイトは下記よりご覧ください

<http://www.misakikai.or.jp/>



■外来診療科目

- 内科 ●呼吸器内科 ●循環器内科 ●消化器内科
- 外科 ●皮膚科
- リハビリテーション科

診療時間のご案内	外来診察日	月曜日～土曜日	
	診療時間	月～金曜日	9:00～12:30 (受付は12:00まで)
		土曜日	9:00～12:30 (受付は12:00まで)

診療科目別の診察時間

診療科目	月	火	水	木	金	土	日
内科	内 科	○	○	○	○	○	○
	呼吸器内科	○	○		○	○	
	循環器内科	○	○	○	○	○	○
外科	外 科					○	○
	皮膚科		○				
担当医	内 科						
	外 科						
外科	外 科					○	
	皮膚科		○				

下記の専門外来の診察曜日に関してはまずはお相談ください。

■糖質制限外来

MISAKI KOKUBU CHUO HOSPITAL NEWS VOL.13

編集/医療法人 美崎会 国分中央病院 IT・広報委員会 発行日/令和4年10月1日
〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1丁目25-70 TEL.0995-45-3085 FAX.0995-45-3088



MISAKI

Kokubu Chuo Hospital NEWS

vol.13

霧島市民に必要とされる施設
美崎会 活動情報誌



P.2 隼人クリニック
中尾先生インタビュー
[高齢者在宅救急について]

P.4 介護医療院
について

P.5 マービー
とは？



P.6 心理士(師)
とは？

P.7 地域医療・介護連携室
のご紹介



FREE ご自由にお取りください



隼人クリニック
院長 中尾 實先生

隼人 クリニック

院長 中尾 實先生

インタビュー



インタビューに
同行しました！

【高齢者在宅救急担当者】
有馬 健太郎
【地域医療・介護連携室】
〈インタビュアー〉 米澤 智保子

【米澤】 当院では、令和2年8月から高齢者在宅救急の運用を開始し、丸2年が経過いたしました。昨年5月には、中尾先生にも患者様のご紹介をいただき、その際に、高齢者在宅救急車が出勤しました。また、今年もご紹介いただきましたが、病室空がなくご紹介にお応えできずに申し訳ございませんでした。

中尾先生からのご感想やご助言をいただき、今後の運用に活かしたいと思い、お忙しい中、お時間をいただきました。早速ですが、当院の高齢者在宅救急の印象はいかがでしょうか？

【中尾先生】 大変ありがたく思っております。

【米澤】 ありがとうございます。当院での高齢者在宅救急車は、要請を受けてから短時間に病院への収容を目的に行っております。高齢者在宅救急を要請される上で、先生のご意見、ご要望等ございましたらお聞かせください。

【中尾先生】 病院依頼（相談）時の相談に時間がかかる場合が多いことが問題点と考えます。

【米澤】 地域の先生方からも同じようなご意見をいただいております。当院では、直通の連絡先（080-8574-4185）がありますので、

そちらにかけていただくことで少しでも簡易に手続きが進められるように努めております。最後になりますが、高齢者在宅救急は、地域の医療機関の先生方のご協力をいただき、霧島市民のために少しでも貢献できるように努めています。今後に向けて、ご助言、ご意見等ございましたらお聞かせください。

【中尾先生】 Emergency（緊急）の患者さんは手早い Transportation（輸送・搬送）であると教わっております。私たちが学ぶ頃は、救急部門がなく主に外科中心でやっておりました。いずれにしても Transportation（輸送・搬送）は、救命回復のカギだということがあります。そんな中、医師の立場では、ご家族への説明・同意に時間がかかるケースも多いかと思えます。家族に連絡がつかなくて説明・同意が得られないこともあります。

【米澤】 命に係わる場所ですので、本人の意思確認ができない時は困りますよね。当院での入院時にも言えることです。当院の高齢者在宅救急は、緊急を要する場合は、救急救命士と特定看護師が同伴して、患者様をお迎えに参ります。状況に応じて必要な対応を行い、当院へ搬送させていただきます。本日は、お忙しい中お時間頂きまして、誠にありがとうございました。

【中尾先生】 患者さんの状態によって相談をしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

【米澤】 今回頂いたご助言・ご意見を活かし、当院の高齢者在宅救急の運用に活かしていきたいと思えます。また、今後とも連携を図らせていただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

地域医療・介護連携室直通：080-8574-4185



隼人クリニック

[内科・消化器内科・外科・
リハビリテーション科]
〒899-5102
霧島市隼人町真孝870番地3
電話/0995-43-5511

開放型登録医院の紹介

医療法人美崎会 国分中央病院では地域の医療機関との連携を活かし、患者様へ、さらに快適な医療サービスの提供を目指しています。

【国分】

- みみ・はな・のど としクリニック
- 梶原内科
- 原口耳鼻咽喉科
- 霧島眼科
- 江口整形外科
- うえぞの内科クリニック
- 帖佐クリニック
- いぢち眼科
- 原口内科消化器科
- 青葉クリニック
- 三輪クリニック
- とくしげ耳鼻咽喉科
- プライマリ・ケアむろ内科
- かのう医院
- はやし内科クリニック

【隼人町】

- 島田泌尿器科医院
- 吉満内科クリニック

整形外科酒匂クリニック

- はやと整形外科
- 隼人クリニック
- 山下内科クリニック
- 森クリニック呼吸器科・内科
- 永田医院
- 吉玉リウマチ・内科クリニック
- 八反田内科

【その他のエリア】

- 八木クリニック（福山町）
- 伊東内科クリニック（横川町）
- 佐藤医院（溝辺町）
- 壱岐医院（溝辺町）
- 竹田医院（霧島町）
- 春田医院（牧園町）
- ひらしまクリニック（湧水町）

介護医療院



国分中央病院介護医療院は、令和4年5月20日に県の認可を受け、5月23日に開院いたしました。

当施設は、要介護認定（要介護1～5）を受けた方で、喀痰吸引や経管栄養等の医療行為が必要なため、自宅での介護や介護施設等での受け入れが困難な方の受け入れを行うとともに、看取りやターミナルケアの機能も兼ね備えています。



また、当施設入所中より居宅ケアマネや福祉用具業者等と連携し、在宅復帰を目指すことも可能です。当施設のリハスタッフが利用者様・ご家族様と一緒に、自宅環境の整備のための家屋調査を行い、日常生活の動線上の動作の確認、必要箇所への福祉用具設置等についてその場で意見を出し合ったり、更に実際の生活場面を想定したりハビリメニューの立案・実施を行い、在宅復帰を達成された利用者様もいらっしゃいます。

国分中央病院介護医療院は、幅広いニーズにお応えすることができる施設となっております。介護でお困りの際はお気軽にお問合せください。

介護医療院（国分中央病院内）：0995-45-3085



栄 養 通 信



当院では糖尿病がある患者さんだけでなく、全ての患者さんに砂糖を使用せず、マービーを使用しています！

マービーとは？

マービーとは、でんぷんから作られた還元麦芽糖を原料とした、添加物不使用の低カロリー甘味料です。

還元麦芽糖は、体内でインスリンの分泌を促しません。また、砂糖が100%小腸で消化吸収されるのに対し、マービーは小腸ではほとんど吸収されず、ほとんどが炭酸ガスと水に分解されます。そのため、脂肪になりにくく血糖値の上昇を抑えてくれます。

そこで、当院では砂糖の代わりにマービーを使用し、血糖値の上昇を抑制しています。



砂糖とマービーの比較

マービーのカロリーは、砂糖の約半分で糖質はゼロです。また、甘味は砂糖の約80%です。

	エネルギー	糖 質
砂 糖（上白糖）	384kcal	99.2g
マービー（液体）	165kcal	0g
マービー（粉末）	200kcal	0g

(100g 当たり)

マービーを使用した食事

砂糖
大さじ1 (9g) =35kcal

同じ甘さ

マービー液体
大さじ3/4杯 (15g) =25kcal
マービー粉末
大さじ1杯 (10g) =20kcal



マービージャムを使用しています！

このようにマービーは、魚料理・肉料理・酢の物・お菓子など幅広い料理に使用できるため、簡単に料理に取り入れることができます。また、熱や酸に強く、調理しても味は変化しないため様々な調理法で使用することができます。

心理士(師)とは?



”悩みを相談したい”、”イライラ・モヤモヤする”、”病気を受け入れられない”、そんな方の『心のケア』をする専門職です。

心理士(師)とは?

- 臨床心理士：(財)日本臨床心理士資格認定協会の認定資格で、研修を条件に5年ごとに更新される資格です。
- 公認心理師：2019年に誕生したばかりの新しい国家資格です。

どちらも心理学に基づいた知識と技術で『心のケア』をする専門職です。当院の心理職はどちらの資格も取得しています。

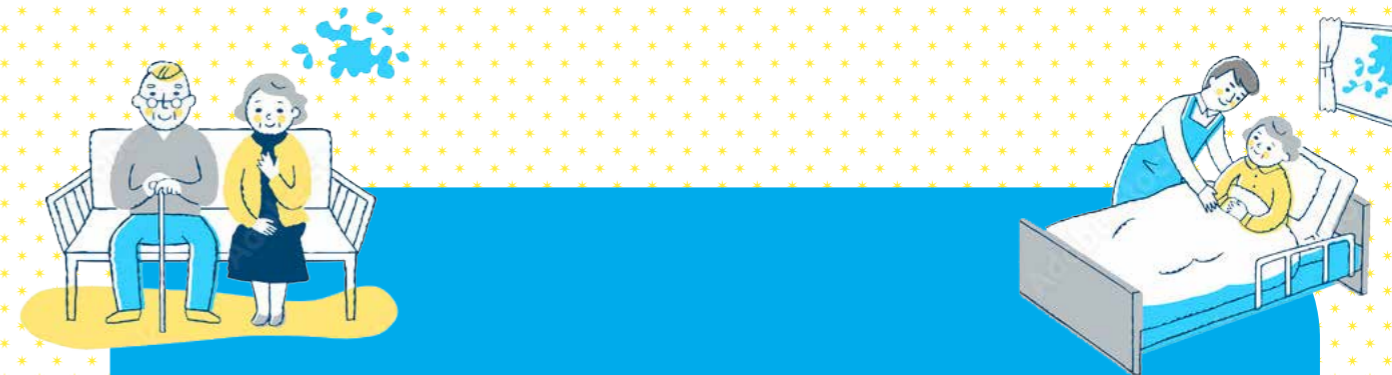
業務内容は?

思うように身体が動かないことへの苛立ち、病気による痛みや不安、入院による環境の変化による心身の不調など、穏やかに入院生活が始まる患者様はほとんどいません。気持ちが落ち込むことは誰にでもあり得ることです。

心理士(師)は、そういった患者様やご家族の方に気分転換目的でお話をうかがうなど、カウンセリングの中で一緒に気持ちの整理をし、今後の生活の不安解消のお手伝いをしています。

また、お話の中で患者様のこれまでの人生をお聴きし、価値観や背景、生きていく上で大事にしていることを理解できるよう努めています。患者様から得られた情報をもとに、現在の心理状況を把握し、その方の今後のケアに活かしていきます。

多職種・他機関とも連携し、必要な情報があれば共有し、チームで患者様とご家族を支えていければと思っております。患者様が気軽にお話できるような雰囲気と、「相談してよかったな」と思ってもらえるような関わりを目指しています。



地域医療・介護連携室 のご紹介

私たちの主な業務内容は、

- 入退院に関わる支援
- 介護保険・身体障害者手帳・難病手帳・医療や福祉に関わる申請代行
- 外来患者様の医療福祉介護に関する相談・対応
- 施設や在宅のケアマネージャーや行政機関・地域の医療機関との連携 …などです。

具体的には、

医療機関からの入院相談ごとに医師・院内スタッフとカンファレンスを行い、速やかに入院日を決めております。

そして入院中は、退院後の生活がより良く快適に過ごせるように、希望される方向性などをお聞きした上で、それぞれの状況に応じて院内スタッフ・ケアマネージャー・地域の介護・福祉施設・支援機関と連携しています。

また、退院前にリハビリテーションスタッフやケアマネージャーと一緒に家屋調査に行き、その方に応じた住環境の提案等もさせて頂いております。

最後に、患者様の朗報を耳にした時に一番のやりがいを感じます。私たちは、患者様とご家族がより良い方向に向かう様、全力でサポートいたします!

